



軽防協ニュース速報（号外）

2023年5月24日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

アメリカ合衆国（California 州）における水疱性口内炎の発生について

米国農務省（USDA）によると、2023年5月17日 California 州 San Diego 郡において水疱性口内炎の発生が確認された。11歳のクォーターホース牝馬の口腔病変から水疱性口内炎 New Jersey 型ウイルスが分離されている。5月22日時点で California 州の2郡（San Diego 郡および Riverside 郡）において8施設の陽性、11施設の疑いが確認されており、これらの施設では、吸血昆虫軽減を含めたバイオセキュリティ対策がとられ、最後の罹患動物に病変が発生してから少なくとも14日間、州の検疫下に置かれることとなる。

アメリカ合衆国における水疱性口内炎の発生は、2020年4月から10月にかけて、8州（Arizona, Arkansas, Kansas, Missouri, Nebraska, New Mexico, Oklahoma, Texas）326施設における流行以来となる。

【参考：USDA Report】

https://www.aphis.usda.gov/animal_health/downloads/animal_diseases/vsv/sitrep-05-17-23.pdf

https://www.aphis.usda.gov/animal_health/downloads/animal_diseases/vsv/sitrep-05-22-23.pdf

2020年の発生報告

https://www.aphis.usda.gov/animal_health/downloads/animal_diseases/vsv/sitrep-11-13-20.pdf

水疱性口内炎とは？

水疱性口内炎はウシ、ブタなどの偶蹄類の動物および馬の舌、口腔や鼻腔の粘膜、乳頭、蹄部やそれらの周囲の皮膚に水疱や丘疹ついで糜爛や潰瘍を形成する伝染病です。本ウイルスには New Jersey 型と Indiana 型の主要な2つの血清型があります。偶蹄類家畜では口蹄疫との類症鑑別が非常に重要な疾病であり、家畜伝染病に指定されています。感染経路は、ブユやサシチョウバエなどの吸血昆虫による水平感染であり、吸血昆虫との接触を可能な限り限定する措置をとることが重要とされています。稀ですがヒトに感染すると、インフルエンザ様の症状を起こすことがあります。本病は南北アメリカに限局して発生が認められていますが、過去には感染した輸入馬を原因とする発生がフランスでも認められたことがあります。日本での発生報告はありません。

軽種馬防疫協議会